



厳しい暑さが続いた夏休みが終わり、学校に子どもたちの明るい笑顔と元気な歓声が戻ってきました。一月ぶりに会う子どもたちの、日焼けして一回り大きくなった姿に、たくましさを感じました。

さて、9月から12月には、校外学習やオータムフェスティバルなど、様々な学校行事もあり、一年の中でも最も充実した時期を迎えます。一つ一つ、目標をもって取り組ませていきたいと思います。

7月27日に、イチロー選手がアメリカの野球殿堂入りを果たしました。19分に及ぶスピーチの中で、彼は「小さなことを積み重ねることが、とんでもない所へ行くただ一つの道」だと述べています。そして、「努力せずに何かできるようになる人のことを『天才』というのなら、僕はそうじゃない。僕は、自分が努力したということに自信をもっている」という言葉を残しています。小さな積み重ねを大切に、自分の目標に近づけようとする粘り強さを育てていきたいと思います。前期後半がスタートしました。暑さが続きます。熱中症に気をつけて、また、生活のリズムを整えながら、学校生活を送ることができるよう支援していきます。ご協力をよろしくお願いいたします。

児童・生徒会活動交流会(笑顔サミット)



8月7日(水)に、笑顔サミットが、しあわせプラザホールで開かれました。このサミットは、ひたちなか市の小・中・義務教育学校・中等教育学校の代表児童・生徒が、一堂に会して、テーマに基づいた話し合いをします。今年のテーマは、「学校をよくするために自分たちにできること～学校のルールをもう一度見直そう～」です。本校は6年生の児童2名、5年生の児童が1名参加しました。

2回の分科会が行われ、1回目は、市内の小学校と意見交流会を開きました。それぞれが、学校のきまりを持ちより、気になったことを話し合いました。その中で、「小学生らしさとは」というところに、焦点化し、それぞれの考えを述べました。また、2回目は、中学生が入り、中学校との違いを話してくれました。意見交換をして、考えを深める場面が見られました。

全国学力・学習状況調査から

○ 6年生を対象に実施しました令和7年度全国学力学習状況調査の結果についてお知らせいたします。

【本校の平均正答率と全国平均正答率との差】

国語…下回っている 算数…下回っている 理科…下回っている

国語では、

・(「話す・聞く」の分野で)

複数の情報を整理し、論理的に考え、文章で表現する力に課題が見られました。単に正解を導くだけでなく、思考の過程や根拠を明確に示す必要がある記述問題に課題が見られました。

算数では

・(「データの活用」の分野で)

根拠や理由を添えて解答する記述問題で課題が見られました。今後は知識の習得だけでなく、その知識を「活用」する機会を増やす必要性が見られました。

理科では

理科全般において基礎的な知識の不足が見られました。また、既習の知識を基に、実生活の事象を科学的に考察し、その理由を論理的に説明することに課題が見られました。

今後、課題を分析し、指導に生かしていきます。

